

～ボストン歴史探訪～ その4
独立記念日 — 旧州議会議事堂 —



旧州議会議事堂前（2022/7/4 館員撮影）



July 4th を記念した花火 出典：Getty images

2022 年 7 月 5 日のボストングローブ紙メトロ版は、「BOSTON TRADITION RETURNS」と題して前日 4 日の独立記念日の様々な行事を写真と共に紹介しています。

昨年もパレード、旧州議会議事堂（Old State House）での独立宣言朗読、USS コンスティテューション号の年一回の航海（ターンアラウンド）、規模を縮小した花火は行われたのですが、今年は天気にも恵まれ、ボストンポップスによるハッチ・メモリアル・シェルでのコンサートも復活し、コロナウイルス禍を乗り越えて文字通り三年ぶりにボストンの伝統が戻ってきました。



USS コンスティテューション号（2022/7/4 館員撮影）

7月4日、旧州議会議事堂は午前9時過ぎには大勢の観客に囲まれ、バルコニーの下にパレードが到着するとミシェル・ウー市長の挨拶の後246回目の独立宣言の朗読が行われました。



旧州議会議事堂で挨拶をされるウー市長（2022/7/4 館員撮影）

The Declaration of Independence: 独立宣言

出典：American Center Japan: 独立宣言（1776 年）



独立宣言の朗読の様子（2022/7/4 撮影）

1775年4月19日、英国軍がマサチューセッツ州の民兵軍を襲撃しようとしたことから独立戦争が始まったことはポール・リビアとレキシントン・コンコードの戦いの回で紹介しました。独立戦争は1783年9月3日まで8年間も続くのですが、戦闘開始約一年後の1776年7月4日には大陸会議は独立宣言を承認し、英国との繋がりを正式に断ち切って、新たな独立国家、アメリカ合衆国を誕生させ、更なる戦いのためにその国民を鼓舞し、諸外国の支持を求めたのです。

アメリカ合衆国は正に戦いの最中に誕生したということです。

独立宣言は、「すべての人間は生まれながらにして平等であり、その創造主によって、生命、自由、及び幸福の追求を含む不可侵の権利を与えられている。」とうジョン・ロックの自然法思想に基づく崇高な理想で知られています。

理想の後に続くのは、英国王ジョージ3世の悪政に対する27もの不満、恨み言です。英国王を非難する独立宣言は反逆とみなされ、これに署名した56人は処刑される恐れがあったのですから、彼等の決意は並々ではなく、独立宣言末尾の、「われわれは、この宣言を支持するために、神の摂理による保護を強く信じ、われわれの生命、財産、および神聖な名誉をかけて相互に誓う。」の一文は彼等の必死の覚悟を示したものでしょう。

独立宣言は、武器による戦いとは別の言葉の戦いだったのでしょう。



独立記念日のパレード（2022/07/04 館員撮影）



旧州議会議事堂の屋上（2022/06/26 館員撮影）



英国の国章 出典：Getty images

旧州議会議事堂の屋上を飾るライオンとユニコーンは、英国の国章で使用されていることから、1776年7月18日に独立宣言が初めて読み上げられた時に英国王の象徴として燃やされ、現在あるものはレプリカだそうです。

時は流れて 1976 年、アメリカ合衆国建国 200 周年の祝賀の一環としてボストンを訪問したエリザベス 2 世女王は州議会議事堂の歴史的なバルコニーから大勢の聴衆に次のように話しかけたそうです。

『ポール・リビア、サミュエル・アダムズ、その他の愛国者達が、いつの日か英国の君主が、独立宣言が最初にボストンの人々に読まれたこのバルコニーに立ち、このように優しく寛大な言葉で歓迎されると知っていたならば、さぞかし驚かれただろうと思います。しかし、おそらく彼等はまた、アメリカの独立戦争が戦われたまさにその理想を守るために、私達が自由な人として、友人として再び一緒になることを知って喜んだ事でしょう。』



(2022/07/06 館員撮影)

余談ですが、独立宣言の起草者の一人、ベンジャミン・フランクリンの生家は旧州議会議事堂の近くにあったようです。MILK ST の小川珈琲ボストン店の向かい、今はギリシア料理のレストラン GRECO が営業されています。

出典：

1. Getty images

<https://www.gettyimages.com/editorial-images> (2022/7/6 閲覧)

2. American Center Japan

<https://americancenterjapan.com/aboutusa/translations/2547/> (2022/7/6 閲覧)